

令和6年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業
地域社会と連携した創造都市マネジメント推進人材育成プログラム

創造都市スクール 開講!

創造都市スクールとは

横浜市は2004年に文化芸術創造都市構想を発表し、文化の振興、産業の振興、都市デザインの領域にまたがって、創造都市施策を展開してきました。以降、20年間にわたり、公民の連携により、さまざまなプロジェクトが行われてきました。

これまでの経験を活かし、国内外の専門家やNPOなどの創造的な活動家を講師に招き、次世代の創造都市のリーダーを育成するため、創造都市スクールは開講します。



Chief Program Director
チーフプログラムディレクター
鈴木 伸治
横浜市立大学国際教養学部 教授

創造都市に関わる人々を応援したいとの思いから「創造都市スクール」が始まります。

- 積み上げられた経験と情報を積極的に共有し、関係者同士の連携強化を通じて、次世代の人材育成に努めたい。
- 地域の歴史や文化を尊重し、文化や芸術を通じて地域の魅力を発信していきたい。
- アーティストやクリエイターが創造力を発揮できる環境を提供したい。

そんな皆さんの参加をお待ちしています。



Program Director
プログラムディレクター
秋元 康幸

横浜市立大学特任教授 BankART1929副代表

創造都市スクール 受講生募集概要

主催：横浜市立大学
協力：横浜市、BankART1929

会場

オンライン又は会場（横浜市立大学みなとみらいサテライトキャンパス他）

どちらも後日アーカイブ動画をご視聴可能です。会場の定員は30名です。

受講料：無料

今回募集する講義の開催数

計4ユニット

（1ユニット：90分授業×4回）

2024年度事業内で合計12ユニット開催
（内容は裏面をご参照ください。）

創造都市スクール修了証

2024年度事業内で3ユニット受講した方に「創造都市スクール修了証」を授与します。

開催時間

18：30～20：00

（開催日は裏面のプログラムのとおりです。）

お申込み

オンラインフォームより
お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/CpSV8Ny8if>



創造都市スクールは「地域社会と連携した創造都市マネジメント推進人材育成プログラム」の一環として、横浜市立大学により実施されます。本事業は地域社会と連携しながら創造都市の取り組みをすすめる人材育成を目的としており、文化庁「令和6年度大学における文化芸術推進事業」に採択されています。
※公式発表はこちらをご確認ください。 <https://www.yokohama-cu.ac.jp/news/2024/20240410bunkageijiyutusuisin.html> <https://www.daigaku.bunka.go.jp>



プログラム

Unit 1 ユニット1 『創造都市概論』



佐々木雅幸（大阪市立大学 名誉教授）

【講義概要】 20世紀末の創造都市論登場の世界的な背景を踏まえて、理論的な先駆者であるルイス・マンフォード、ジェイン・ジェイコブズ、ピーター・ホルの紹介と検討を行い、次いで、21世紀の創造都市論登場の担い手であるチャールズ・ランドリーとリチャード・フロリダの所説の紹介と検討を行う。主に欧米における創造都市論の展開過程をボローニャ、バルセロナ、モンテリオールなどで検討したうえで、日本における創造都市の展開を金沢、神戸、京都などにおいて紹介し、その特徴を分析する。

| | |
|----------|---------------------------------------|
| 6月11日（火） | 創造都市論登場の背景と理論系譜（マンフォード、ジェイコブズ、P.ホール等） |
| 6月18日（火） | 現代の創造都市論（ランドリーとフロリダ） |
| 6月25日（火） | 海外における創造都市の展開（ボローニャ、バルセロナ、モンテリオール等） |
| 7月2日（火） | 日本における創造都市の展開（金沢、神戸、京都等） |

Unit 2 ユニット2 『横浜の創造限界拠点論』

【講義概要】 横浜の創造限界拠点は、NPO等が自主的に運営し、横浜の創造都市や現代アートの拠点だけでなく、若いアーティストの支援や、周辺の街づくりとの連携する拠点ともなっている。本講座では、横浜を代表する3つの拠点のディレクターたちに、その拠点の特徴と運営について語る。

| | | |
|----------|---------------------|----------------------------------|
| 6月14日（金） | 横浜の創造都市と創造限界拠点について | 秋元康幸（横浜市立大学特任教授 BankART1929 副代表） |
| 6月21日（金） | 創造限界拠点 BankART1929 | 細淵太麻紀（BankART1929 代表） |
| 6月28日（金） | アートのまちづくり 初黄・日ノ出町地区 | 山野真悟（黄金町エリアマネジメントセンター 事務局長） |
| 7月12日（金） | 創造限界拠点 象の鼻テラス | 大越晴子（スパイラル/株式会社ワコールアートセンター） |

■ ユニット2 講師



秋元康幸



細淵太麻紀



山野真悟



大越晴子

■ ユニット3 講師



鈴木伸治



津澤峻



山野桂



大越晴子

Unit 3 ユニット3 『創造都市の担い手たち』～3つの拠点の若手ディレクターたちが選んだ都市の活動

【講義概要】 日本各地にはアーティストやクリエイターが活躍する創造的な拠点や活動が数多く存在している。本講座では、横浜の創造限界拠点の中で注目される若手ディレクターたちが特定の創造的活動を選び、その活動について解説することにより横浜との違いを浮き彫りにする。

| | | |
|----------|---------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 7月9日（火） | 創造都市の担い手たち | 鈴木伸治（横浜市立大学国際教養学部 教授） |
| 7月16日（火） | 私立大室美術館（三重県津市） | 大室祐介（建築家） 中谷ミチコ（彫刻家） 津澤峻（BankART1929） |
| 7月23日（火） | 九州コミュニティ研究所「CRIK(クリック)」(福岡県福岡市) | 池田祐介（九州コミュニティ研究所） 山野桂（黄金町エリアマネジメントセンター） |
| 7月30日（火） | 建築センターCoAK（京都府京都市） | 川勝真一（建築キュレーター/（一社）建築センターCoAK 代表理事） 大越晴子（象の鼻テラス チーフ） |

Unit 4 ユニット4 『自治体政策としての創造都市』



野田邦弘（横浜市立大学 客員教授）

【講義概要】 産業構造の転換により都市経済の崩壊に見舞われた欧州工業都市の再生政策として、1980年代頃登場した創造都市政策は、今世紀に入る頃から欧州だけでなく、世界中で一斉に取り組まれるようになった。本講義では、横浜の事例を皮切りに自治体政策の側面から創造都市の神髄とは何か考える。また、日本経済の衰退を創造経済の立場から総括し、創造性が日本再生のカギを握ることを明らかにする（創造性教育の重要性）。さらに、韓国での取組も紹介しながら、東アジア創造都市連携を構想したい。

| | |
|----------|-------------------------------------------------|
| 7月19日（金） | 自治体文化行政からクリエイティブシティ・ヨコハマへ |
| 7月26日（金） | 韓国文化都市と日本の創造都市（講師：釜山文化財団生活文化本部長ジョ・ジュンユン、ZOOM出演） |
| 8月2日（金） | 国連、EU、文化庁の取組、創造農村論、芸術不動産 |
| 8月9日（金） | 創造経済論～ものづくりから知的財産へ、創造性教育論、クリエイターシティ・チガサキ |